



校報

# さくら

第88号

宍粟市立

はりま一宮小学校

学校教育目標

「こころ豊かにたくましく  
自ら学ぶ児童の育成」

本年度のテーマ

子どもが主体的に学ぶ  
学校文化の創造

## 蕾

学校評価を終えて

教頭 高井 敏子



「習字の半紙を忘れました。」

四月のある日、ひとりの児童が書写の忘れ物に気がついて、私の元へ来ました。教師が貸すことは簡単なことですが、さあ、どうしたものかと思いい教室へ向かいました。教室では、子どもたちが筆や硯をきちんと出して待ち、表情には、学年がひとつ上がった喜びと誇らしさが漂っていました。

ご挨拶が後になりました。暦の上では春を迎えましたが、底冷えする日が続いております。本校の玄関には、シルバーさんに美しく剪定していただいた松の木に雪が積もり、絵画のような美しさを漂わせています。地域並びに保護者の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと思います。日頃から本校の教育活動に對しまして、ご理解・ご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、学校では毎年この時期に学校評価を行っています。児童・保護者・教職員を対象にしたアンケートをもとに、次の四つの重点目標について、より良い改善策を考えるためのものです。成果の報告とともに、課題内容に重点を置いて報告し、今後の教育について考えたいと思います。

### I 主体的な学びを引き出す指導と支援

【評価 A】

### II 自分らしい成長を促す働きかけ

【評価 A】

児童の98%が「学校は楽しい」と回答し、喜ばしい限りです。「読書が好き」な児童は71%です。子どもたちを見ていると、お世話

をしたりされたりしながら、異年齢でよく外遊びをしています。雨で遊べない日は、玄関先で「好き」という項目なら、きつと高い数値を打ち出すでしょう。物事にはプラスとマイナスがあり、外遊びが第一で、読書は二の次：と考えますと、子どもらしいとも思いました。それでも、今後も読書ボランティアの皆様や、いちのびあの移動図書館のお力を借りながら、活字離れを防ぎ意欲付けを図っていきます。

学校は学力をつける事は勿論ですが、他に

令和7年度 学校評価（一部抜粋） 評価：児童・保護者・教職員

重点目標	評価項目	評価
主体的な学びを引き出す指導と支援	わかる授業の工夫	A・A・A
	学習習慣の定着	A・B・A
	読書活動の推進	B・A・A
	小中一貫教育の推進	A・A・C
	地域から学び、地域の良さを知る活動の推進	A・A・A
自分らしい成長を促す働きかけ	「あいさつ」の定着・社会的スキルの育成	A・A・A
	いじめの未然防止と早期発見に向けた取組の推進	A・A・A
	多様な体験活動の充実	A・A・A
一人一人のニーズに対応した教育の推進	多面的で科学的な児童理解 (教職員)	A
	児童のニーズに応じた合理的配慮の提供	A・A・A
	豊かな心を育む道徳・人権教育の推進	A・A・A
働きがいのある職場づくり、協働体制の強化	教育目標達成に向けた研修の充実 (教職員)	A
	学校教育改革の推進 (教職員)	B
	業務改善・働き方改革の推進 (教職員)	A

4段階評価 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

も学ぶ事が沢山あります。まずは、人との関わり方です。人は、将来どこで生活しても必ず組織や集団で生きていきます。一人一人を大切にすると同時に、集団を育てることも大事なことです。子ども同士が関わり合うと、当然揉め事もおこります。それでも、群れから集団になりつつある今、自分たちで解決できる力が身につくように、長い先を見据えて、教師は休み時間もアンテナを高く張っています。必要であれば話し合いをさせ、自分や相手の良さを認め合えるように支援を行っています。学習以前に、心から安心できる居場所づくり・学習の基盤づくりを行っています。学級は家族と同じです。担任を中心に、授業を介して、一番大切な集団づくりをしています。ペアをつくって関わらせる、班活動を取り入れて友だちを助けるよう促す、友だちの良いところ見つけをした文章を学級便りに載せて広める等、子ども同士を繋ぐ作戦を続けていきます。

情報機器の利用では、保護者の四割以上が時間の管理に課題があると回答されています。学校における児童への系統的な指導に加え、家庭でのルールづくりやフィルタリング設定、見守りや声かけ等について情報を提供し、利用状況の改善を促していきます。

III 一人一人のニーズに対応した教育の推進

【評価 A】

保護者アンケートには、「こども園の時の先生とも交流があり、子どもがとても喜んでいました」「地域での挨拶を、我が子も含め聞かないことが多い」と、ありました。挨拶のすがすがしさを体感させるため、教師の挨拶をロールモデルとして地道に継続します。

他には、「こんなに楽しく学校に行っているのは先生のお陰だと日々感謝しています」「いつも子どもたちに細やかな指導や気遣いをしていただき、ありがとうございます」「クラスは、お互いを高め合っていて、端から見ているととても雰囲気がいいように思います」

このお言葉には、職員も日々の疲れを忘れ喜んでいました。大人も誉められると力が沸き、明日への活力となります。温かなお言葉、ありがとうございます。

IV 働きがいのある職場づくり協働体制の強化

【評価 A】

学校運営協議会委員の方からは、「宍粟市の中でも一クラスの人数が多い中で、教職員の頑張りや敬意を表します」「職員がオーバーワークにならないように精査して進めて欲しい」と、労いの声をいただきました。

学校の「数値に表すことができないけれど、人として立派な子どもたちの姿をよく目にします。下級生をおんぶする子、床に散った墨汁と一緒に拭く子。私たちが、子どもたちから学ぶことは多くあり、時折これ以上何を子どもたちに望むことがあろうかと思うことさえあります。

文頭の「半紙を忘れました。」のエピソードの続きです。ひとりの児童が、「あげる。」と言って、その子へ半紙を渡しました。すると、周りに優しい輪が次々と広がり、多くの子どもたちが、渡りに来ました。その子の机には、蕾のようにだった半紙が花びらのように広がり、白い花が咲いたように、とても心温まる書きの時間となりました。

## 2月の行事予定

17日(火) 読書ボランティア

27日(金) PTA新旧三役会

## 3月の行事予定

2日(月) 委員会

4日(水) 6年生を送る会

11日(水) 中学校体験入学(6年生)

13日(金) PTA新旧常任理事会

19日(木) 給食最終日

24日(火) 卒業式

25日(水) 修了式

